

參考資料



1. 計画策定に係る組織や計画策定に向けての主な基礎調査等

【計画策定に係る組織】

- 議決機関：精華町議会（「精華町議会基本条例」に基づく任意的議決事件として議決）
- 審議機関：総合計画審議会（「精華町総合計画審議会設置条例」に基づき設置）
- 策定機関：総合計画策定委員会（部長級以上の職で構成、下部組織として作業部会を設置）

【主な基礎調査等】

○住民意識調査（アンケート調査）

精華町住民の皆様から、町の現状や将来像、町政全般に対する評価などについて、アンケート調査を実施した。

○有識者ヒアリング

町職員（総合計画策定委員会事務局及び作業部会員）が、本町のまちづくりに関係する様々な分野の学識経験者などにヒアリングを実施し、提言を求めた。

○せいかカフェ・ラボ（住民ワークショップ）

これからの精華町のまちづくりに対する意見や提案を求め、住民同士の対話・交流の場として開催し、最終回はこれまでの意見を踏まえて取りまとめた「まちづくり提言書」を参加者の方に発表していただいた。

○小学生ワークショップ（山田荘小学校 地域のお宝マップづくり）

山田荘小学校の4年生を対象に、自分たちが住む地域の理解を深め、郷土愛を醸成できるよう、まち歩きを通じて地域の「お宝」を見つけるワークショップを実施した。

○精華南中学校「精華町の未来を考える」提言書

精華南中学校の3年生が、テーマを設定して、調べ学習に取り組み、班ごとに提言書を取りまとめ、町に対して提言発表が行われた。

○わたしたちの思い描く未来の精華町作品コンクール

未来の精華町の姿について、町立小学校5年生からは絵画を、中学校2年生からは作文をそれぞれ公募し、優秀作品を表彰した。

○政策提言活動

町職員（総合計画策定委員会事務局及び作業部会員等）が有識者ヒアリングや住民ワークショップ等への参加、日頃の業務経験などを通して得た知識や経験等を基に、政策提言を考え、理事者及び部長級職員に対して、成果発表（プレゼンテーション）を行った。

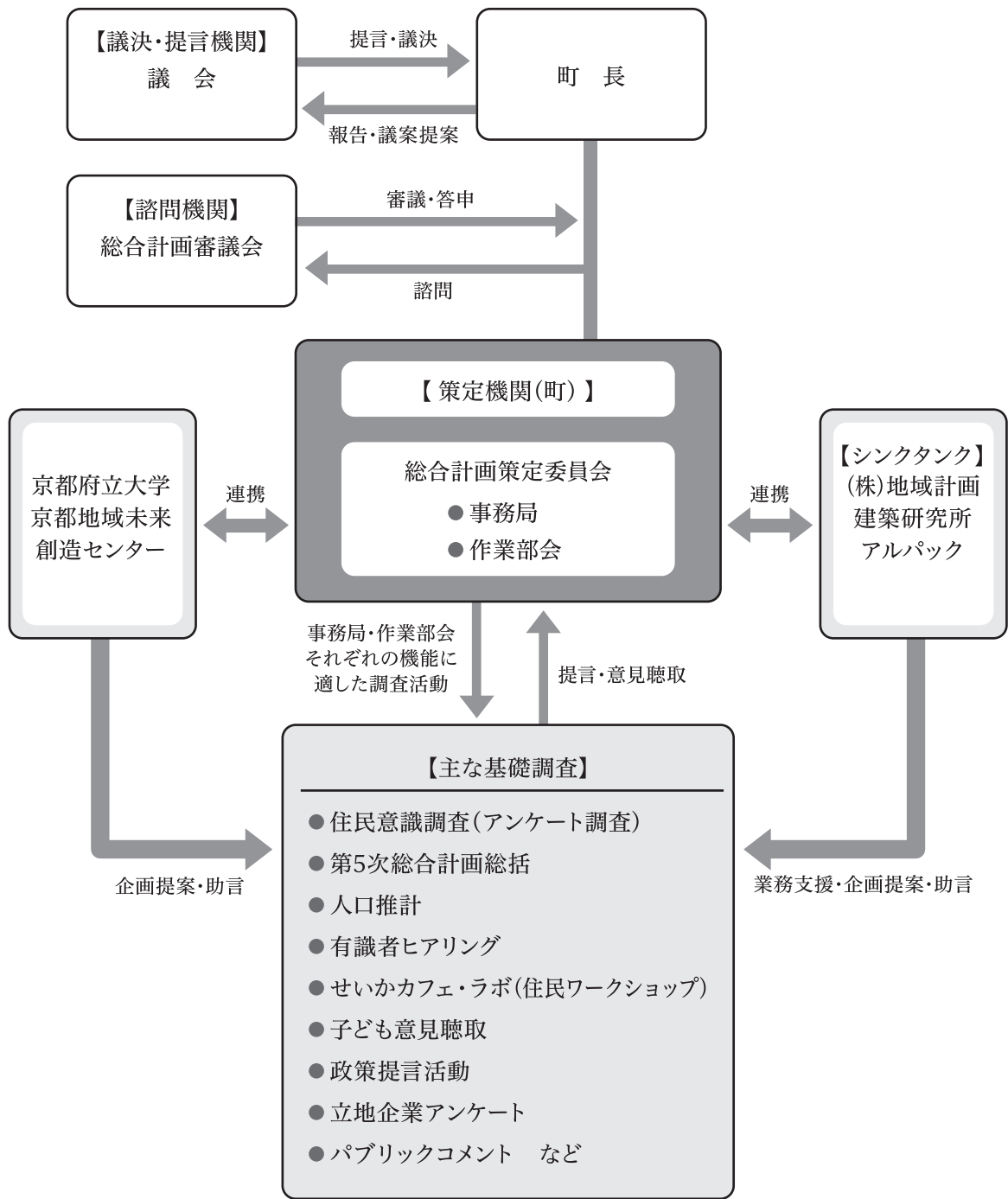
○議会からの提言書

町議会に設置された総合計画特別委員会において、活発な意見交換を重ねて、第6次総合計画策定に向けた提言書を取りまとめ、町に提出された。

○パブリックコメント

（仮称）精華町第6次総合計画（中間案）を公表し、住民から意見を募集した。

2. 精華町第6次総合計画策定体制



はじめに
基本構想
基本計画
第1章
第2章
第3章
第4章
参考資料

3. 精華町第6次総合計画策定経過

はじめに
基本構想
基本計画
第1章
第2章
第3章
第4章
参考資料

年度	月	内容
令和3年度	5月	総合計画策定委員会設置(第1回)
	6月	総合計画策定委員会・作業部会設置 精華町地域創生戦略に係る小中学生アンケート調査実施(6/7～7/2)
	7月	学識経験者などへのヒアリング実施(～1月) 総合計画策定委員会(第2回)
	8月	総合計画策定委員会(第3回)
	9月	住民意識調査実施(9/1～9/21) せいかカフェ・ラボ参加者公募 議会で総合計画特別委員会が設置される 総合計画策定委員会(第4回) 議会総合計画特別委員会への説明【第1回】 第1回総合計画審議会開催(諮問)
	10月	総合計画策定委員会(第5回)
	11月	第1回せいかカフェ・ラボ(テーマ別)開催 総合計画策定委員会(第6回) 第1回せいかカフェ・ラボ(地域別)開催 小学生ワークショップ実施(山田荘小学校) わたしたちの思い描く未来の精華町作品コンクール作品募集(～1/31)
	12月	議会総合計画特別委員会への説明【第2回】 第2回せいかカフェ・ラボ(地域別)開催 総合計画策定委員会(第7回) 精華南中学校「精華町の未来を考える」提言書を受ける 第2回総合計画審議会開催 第2回せいかカフェ・ラボ(テーマ別)開催
	1月	総合計画策定委員会(第8回)
	2月	総合計画策定委員会(第9回) 議会総合計画特別委員会への説明【第3回】
	3月	総合計画策定委員会(第10回) 総合計画策定委員会・作業部会(政策提言発表会) わたしたちの思い描く未来の精華町作品コンクール表彰 第3回総合計画審議会開催 第3回せいかカフェ・ラボ(テーマ別)開催

年度	月	内容
令和4年度	4月	総合計画策定委員会(第11回) 第3回せいかカフェ・ラボ(地域別)開催
	5月	総合計画策定委員会(第12回) 総合計画策定委員会・作業部会(町政基本的事項学習会) 総合計画策定委員会・作業部会(基本構想策定準備作業) 総合計画策定委員会(第13回) 第4回せいかカフェ・ラボまちづくりフォーラム開催(テーマ別・地域別合同)、 まちづくり提言書を受ける 議会総合計画特別委員会への説明【第4回】
	6月	総合計画策定委員会(第14回) 議会総合計画特別委員会への説明【第5回】
	7月	総合計画策定委員会(第15回) 議会総合計画特別委員会への説明【第6回】
	8月	議会総合計画特別委員会から提言書を受ける 第4回総合計画審議会開催 総合計画策定委員会(第16回) 総合計画策定委員会(第17回) 総合計画策定委員会(第18回) 議会総合計画特別委員会への説明【第7回】
	9月	第5回総合計画審議会開催 総合計画策定委員会(第19回)
	10月	(仮称)精華町第6次総合計画(中間案)パブリックコメント実施 (10/3～11/4)
	11月	総合計画策定委員会(第20回) 第6回総合計画審議会開催(答申) パブリックコメント意見対応公表 精華町第6次総合計画(案)議会提案
	12月	総合計画策定委員会(第21回) 精華町第6次総合計画(案)議会可決

4. 精華町総合計画審議会

(審議経過)

回数	開催日	内容
第1回	令和3年9月27日	○会長・副会長の選出 ○諮問書について ○今後の進め方について
第2回	12月16日	○基礎調査の中間報告について ・第5次総合計画総括について ・住民意識調査報告書について ・第1回せいかカフェ・ラボ開催報告
第3回	令和4年3月24日	○基礎調査の進捗状況について ・第5次総合計画総括について ・人口推計調査結果報告書について ・第2回せいかカフェ・ラボ開催報告 ・住民意識調査の追加集計分析について ・有識者ヒアリング報告書について ・小中学生アンケート調査について ・山田荘小学校ワークショップについて ・精華南中学校「精華町の未来を考える」提言書について ・わたしたちの思い描く未来の精華町作品コンクールについて ・今後のスケジュールについて
第4回	8月3日	○せいかカフェ・ラボまちづくり提言書について ・第3回・第4回せいかカフェ・ラボ開催報告 ○次期総合計画基本構想(素案)について ○今後のスケジュールについて
第5回	9月8日	○次期総合計画基本構想(素案)将来像について ○次期総合計画基本計画(素案)について ・基本計画(素案)について ・町議会総合計画特別委員会提言書及び対応について ・せいかカフェ・ラボまちづくり提言書の対応について
第6回	11月10日	○(仮称)精華町第6次総合計画(中間案)パブリックコメントの対応について ○(仮称)精華町第6次総合計画(中間案)後の修正箇所について ○精華町第6次総合計画(案)について ○精華町次期総合計画の策定について(答申)

(諮問書)

精華町総合計画審議会

会長 川勝 健志 様

3 精 企 第 1 1 0 号
令 和 3 年 9 月 2 7 日

精華町長 杉浦 正省

精華町次期総合計画の策定について(諮問)

精華町総合計画審議会設置条例(昭和59年条例第24号)第2条の規定に基づき、
精華町次期総合計画の策定に関する事項について、貴審議会に諮問します。

(答申書)

令和4年11月10日

精華町長 杉浦 正省 様

精華町総合計画審議会
会長 川勝 健志

精華町次期総合計画の策定について(答申)

令和3年9月27日付け3精企第110号により諮問を受けた、精華町次期総合計画
の策定に関する事項について、本審議会は慎重に審議を重ねた結果、下記の意見を付
して別冊のとおり答申します。

町長は、この答申に基づき、今後の行政運営の指針として、速やかに計画案を決定
し、議会の議決を得るとともに、その着実な推進を図られるよう希望します。

記

1. 計画の進捗管理について

本計画の進捗管理については、住民の参画を得て毎年度実施されたい。

以上

精華町総合計画審議会設置条例

昭和59年10月25日

条例第24号

改正 平成2年7月7日条例第13号

平成13年6月27日条例第15号

平成23年3月31日条例第2号

(設置)

第1条 本町に地方自治法(昭和22年法律第67号)第138条の4第3項の規定に基づき、町長の附属機関として精華町総合計画審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 審議会は、町長の諮問に応じ、精華町総合計画の策定に関する事項について調査及び審議を行い、町長に答申する。

(組織)

第3条 審議会は、委員20人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、町長が委嘱する。

- (1) 各種団体等を代表する者
- (2) 学識経験を有する者
- (3) 一般住民

(委員の任期)

第4条 委員は、当該諮問にかかる審議が終了したときは、解任されるものとする。

(会長及び副会長)

第5条 審議会に会長及び副会長各1人を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。
- 3 会長は、審議会を総理し代表する。
- 4 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。

(会議)

第6条 審議会は会長が招集し、会長が議長となる。

- 2 審議会は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。
- 3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(専門委員)

第7条 町長は、必要があると認めるときは、専門的な調査研究に従事する専門委員を委嘱することができる。

- 2 前項において町長は、第3条第2項第2号に規定する学識経験を有する者を専門委員に委嘱することができる。
- 3 専門委員は、当該専門事項に関する調査を終了したときは、解任されるものとする。

(専門部会)

第8条 会長が必要と認めるときは、審議会に専門部会(以下「部会」という。)を置くことができる。

2 部会に部会長を置き、会長の指名する委員をもってあてる。

3 部会に属する委員は、会長が指名する。

(意見の聴取)

第9条 会長は、審議会において必要があると認められるときは、委員以外の者を会議に出席させ、説明又は意見を聞くことができる。

(庶務)

第10条 審議会の庶務は、総務部企画調整課において処理する。

(委任)

第11条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営について必要な事項は、町長が別に定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成2年条例第13号)

この条例は、公布の日から施行し、平成2年4月12日から適用する。

附 則(平成13年条例第15号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成23年条例第2号)

この条例は、公布の日から施行する。

はじめに
基本構想
基本計画
第1章
第2章
第3章
第4章
参考資料

精華町総合計画審議会委員名簿

◎会長 ○副会長 (順不同・敬称略)

	種別	氏名	団体等名称	職名	任期
○	1 2号	青 井 渉	京都府立大学大学院生命環境科学研究科	准教授	R3.9.27～R4.11.10
	2 2号	阿 部 大 輔	龍谷大学政策学部政策学科	教授	R3.9.27～R4.11.10
	3 3号	石 田 千 乃	「せいかカフェ・ラボ」テーマ別 参加者	—	R3.11.25～R4.11.10
	4 1号	石 田 義 之	京都やましろ農業協同組合精華町支店	次長	R3.9.27～R4.6.28
		曾 束 昭 夫		営農経済課長	R4.6.28～R4.11.10
	5 2号	上 杉 和 央	京都府立大学文学部歴史学科	准教授	R3.9.27～R4.11.10
	6 1号	岡 井 紅 仁	精華町PTA連絡協議会	副会長	R3.9.27～R4.11.10
	7 1号	河 合 智 明	公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構	常務理事	R3.9.27～R4.11.10
◎	8 2号	川 勝 健 志	京都府立大学(公共政策学部公共政策学科教授)	副学長	R3.9.27～R4.11.10
	9 1号	北 尾 直 美	精華町文化協会	副会長	R3.9.27～R4.11.10
	10 1号	清 水 辰 也	京都府山城広域振興局地域連携・振興部	部長	R3.9.27～R4.6.28
		高 橋 信		部長	R4.6.28～R4.11.10
	11 1号	勝 田 晃 子	学研都市精華・西木津地区研究機関協議会(SRG)	会長	R3.9.27～R4.6.28
		香 山 健 太 郎		会長	R4.6.28～R4.11.10
	12 1号	杉 下 定 己	特定非営利活動法人精華町スポーツ協会	会長	R3.9.27～R4.11.10
	13 1号	高 橋 朝 子	精華町民生児童委員協議会	副会長	R3.9.27～R4.11.10
	14 3号	鷹 羽 真 歩	「せいかカフェ・ラボ」地域別 参加者	—	R3.11.25～R4.11.10
	15 1号	谷 口 偉	学校法人山城精華学園	理事長	R3.9.27～R4.11.10
	16 1号	寺 本 英 樹	けいはんな学研都市精華地区まちづくり協議会(SLE)	会長	R3.9.27～R4.11.10
	17 1号	並 河 史 昭	株式会社京都銀行精華町支店	支店長	R3.9.27～R4.10.18
		島 田 明 典		支店長	R4.10.18～R4.11.10
	18 1号	古 海 り え 子	社会福祉法人精華町社会福祉協議会	副会長	R3.9.27～R4.11.10
	19 1号	森 本 真 一 郎	精華町商工会	理事	R3.9.27～R4.11.10
	20 1号	綿 崎 健	精華町自治会連合会	副会長	R3.9.27～R4.6.28
		竹 内 寛		会長	R4.6.28～R4.11.10

5. 精華町次期総合計画策定に向けた住民意識調査結果

(1) 調査の概要

① 調査の目的

この調査は、町政の最上位の計画である総合計画を策定するにあたって、まちの現状に対する住民意識、また、中長期のまちづくりに対しての住民意見を広く把握する目的で実施した。

② 調査の対象

【調査対象】精華町在住の16歳以上の町民

【選定方法】無作為抽出

抽出数：4,000人、抽出基準日：令和3(2021)年8月1日

③ 調査の方法

調査は無記名とし、令和3(2021)年9月1日(水)～9月21日(火)を調査期間として、郵送による調査票の返送またはインターネットによる回答の選択式により実施した。

④ 回収の状況

回収数1,282件(うち、郵送による回答875件 インターネットによる回答407件)、有効回答率32.1%を得た。

⑤ 回答者属性

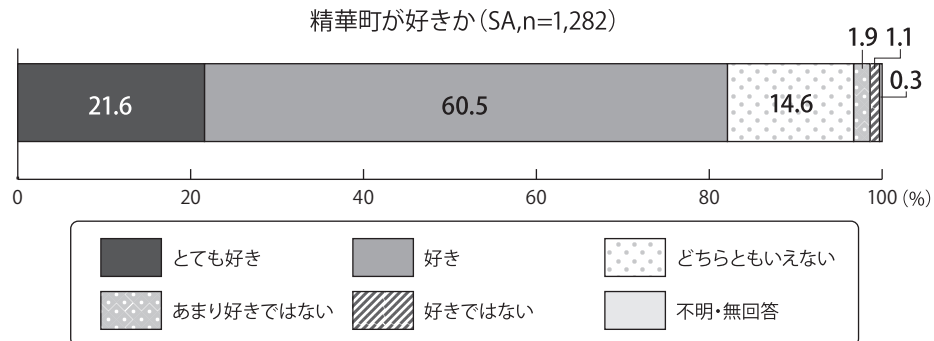
「女性」が約5割、「男性」が約4.5割。年齢は16～29歳が約1割、60歳以上が約4割、30～59歳が約5割となっている。

世帯の型をみると、過半数が「夫婦、子どもからなる世帯」で約5.5割、次いで「夫婦ふたり暮らし」が約2.5割であり、「ひとり暮らし」は約0.5割である。

(2) 調査結果の概要

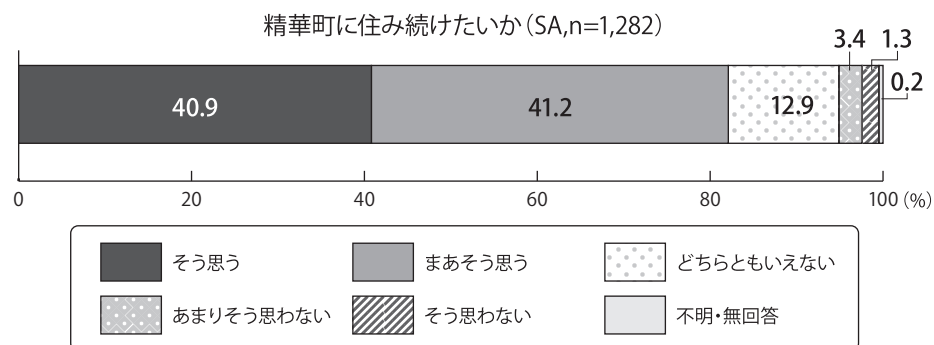
① 精華町への愛着

「精華町が好きか」について、「とても好き」「好き」を合わせると約8割となっている。



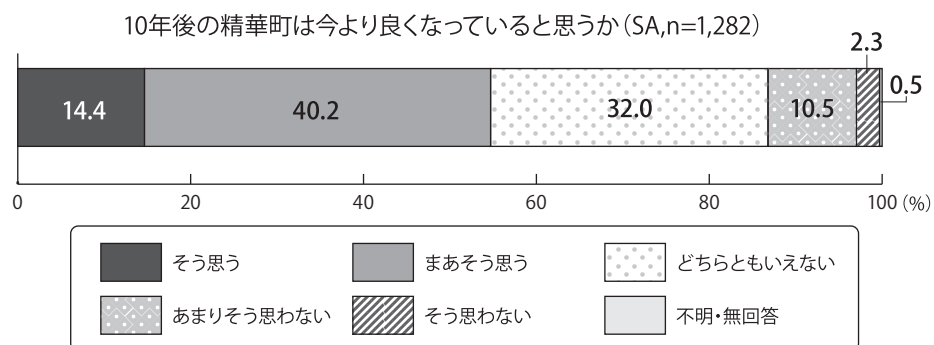
② 精華町への定住意向について

「精華町に住み続けたいか」について、「そう思う」「まあそう思う」を合わせると約8割となっている。



③ 10年後の精華町はどうなっているかについて

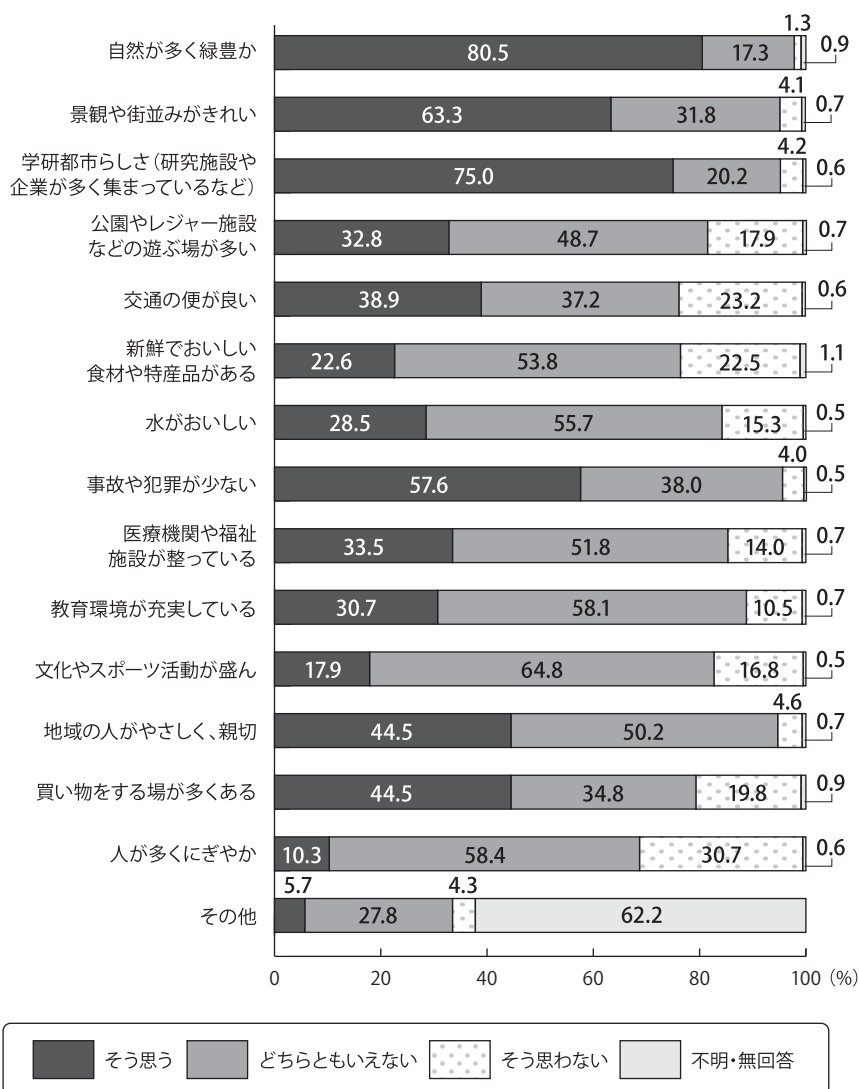
「10年後の精華町は今より良くなっていると思うか」について、「そう思う」「まあそう思う」を合わせると約5.5割となっている。



④精華町の魅力・自慢できること

「精華町の魅力・自慢できること」について、「そう思う」という回答が最も多いのは「自然が多く緑豊か」で約8割、「学研都市らしさ（研究施設や企業が多く集まっているなど）」が約7.5割、「景観や街並みがきれい」が約6割となっている。

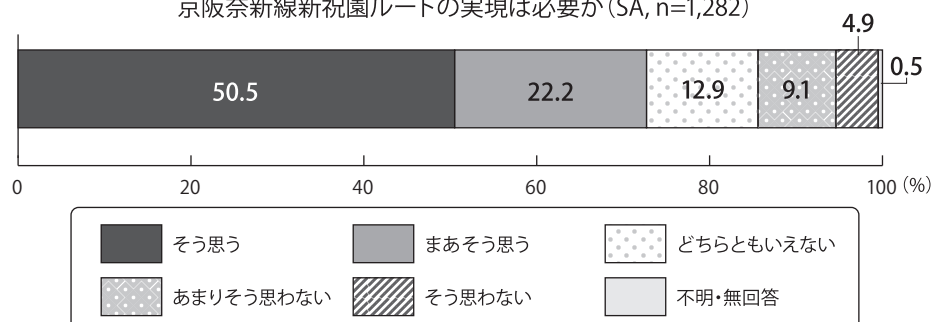
精華町の魅力・自慢できること (SA, n=1,282)



⑤京阪奈新線新祝園ルート必要性

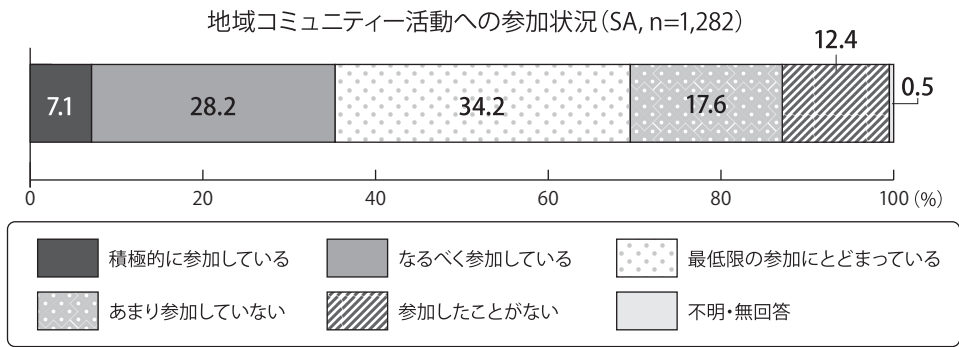
「京阪奈新線新祝園ルートの実現は必要か」について、「そう思う」「まあそう思う」を合わせると約7割となっている。

京阪奈新線新祝園ルートの実現は必要か (SA, n=1,282)



⑥地域コミュニティ活動への参加状況

「地域コミュニティ活動への参加状況」について、「積極的に参加している」「なるべく参加している」を合わせると約3.5割となっている。



⑦施策領域の重要度別の満足度

この調査では、以下の施策領域について、現在の満足度、今後のまちづくりにおける重要度を5段階で評価する問いを設けている。それぞれの設問において、結果の加重平均を求め、2軸4象限にプロットすることで、各施策領域について、今後の重要度別にみた現在の満足度を評価した。

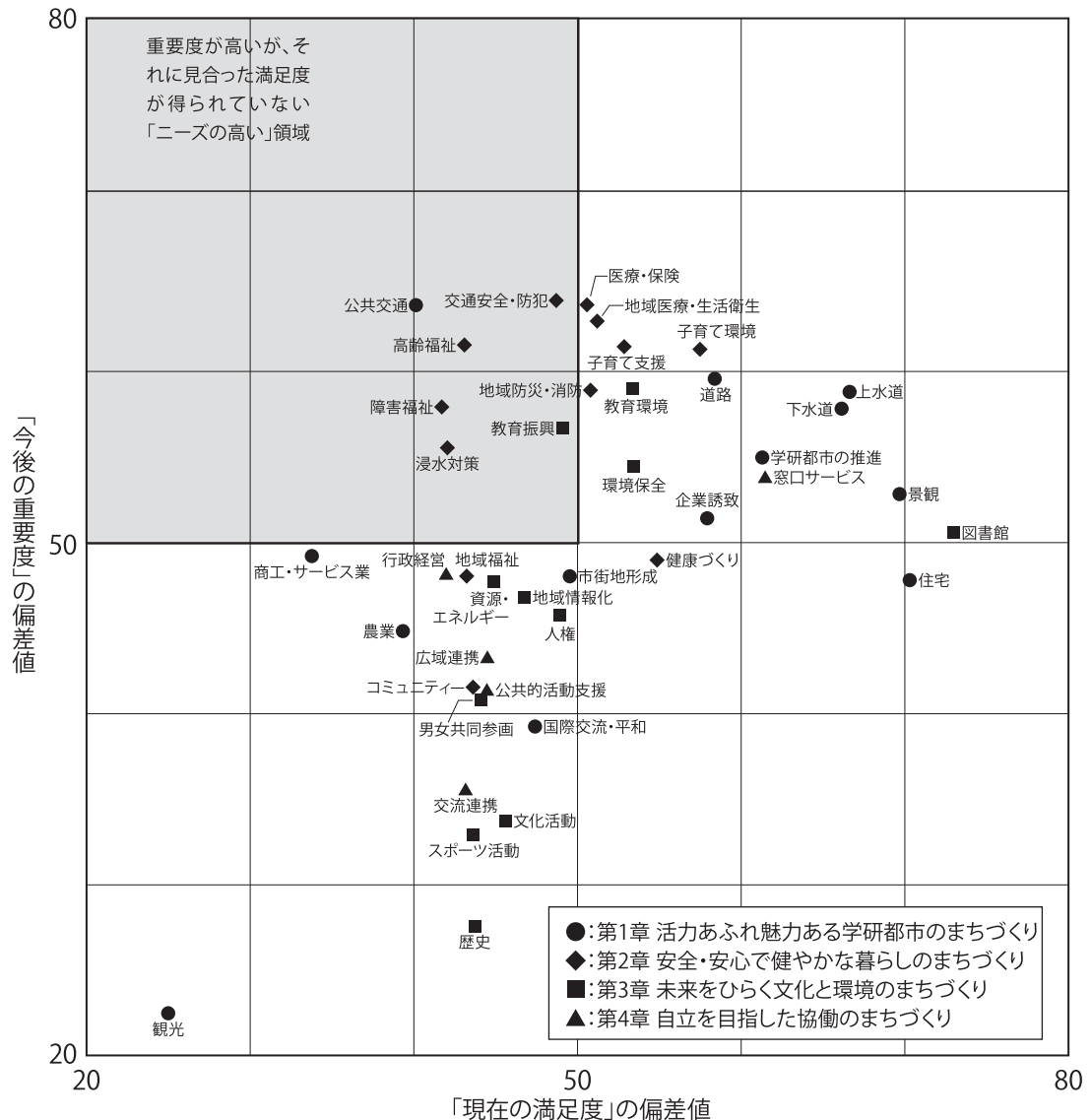
第1章 活力あふれ魅力ある学研都市のまちづくり (●)	第2章 安全・安心で健やかな暮らしのまちづくり (◆)	第3章 未来をひらく文化と環境のまちづくり (■)	第4章 自立を目指した協働のまちづくり (▲)
学研都市の推進 企業誘致 農業 商工・サービス業 観光 市街地形成 景観 道路 公共交通 上水道 下水道 住宅	健康づくり 地域医療・生活衛生 医療・保険 子育て環境 子育て支援 高齢福祉 障害福祉 コミュニティ 地域福祉 地域防災・消防 浸水対策 交通安全・防犯	教育振興 教育環境 歴史 文化活動 スポーツ活動 人権 男女共同参画 国際交流・平和 環境保全 資源・エネルギー 地域情報化 図書館	交流連携 公共的活動支援 行政経営 窓口サービス 広域連携

【評価の結果】

それぞれの取り組みをプロットすると、下図のようになる。

「公共交通」「高齢福祉」「障害福祉」「浸水対策」「交通安全・防犯」「教育振興」の6個の取り組みが、「ニーズの高い取り組み」であるとみなすことができる。

精華町の取り組みについての「現在の満足度」と「今後の重要度」



⑧自由意見(抜粋)

【第1章 活力あふれ魅力ある学研都市のまちづくり】

- ・学研都市として発展してほしい。
- ・住民のための企業誘致を進めてほしい。
- ・学研都市にふさわしい企業を誘致してほしい。
- ・耕作放棄地を活用してほしい。
- ・狛田駅周辺など、狛田地区に商業施設ができてほしい。
- ・精華町の特産品を充実してほしい。
- ・地域格差を無くしてほしい。
- ・街並みを綺麗に維持してほしい。
- ・横断歩道など、歩道の整備を進めてほしい。
- ・山手幹線の早期開通を実現してほしい。
- ・道路が狭いなど、地域によっては道路の整備が不十分である。
- ・けいはんな線の延伸を実現してほしい。
- ・水道料金が高い。
- ・暮らしやすい住宅地である。

【第2章 安全・安心で健やかな暮らしのまちづくり】

- ・せいか365を充実してほしい。
- ・町内に病院や医院を増やしてほしい。
- ・公園に遊具を増やしてほしい。
- ・子育て支援を充実してほしい。
- ・高齢者が暮らしやすいまちづくりを進めてほしい。
- ・障害者が暮らしやすいまちづくりを進めてほしい。
- ・担い手不足など、自治会活動の存続が難しくなっている。
- ・防災を充実してほしい。
- ・大雨の時の浸水対策を充実してほしい。
- ・安全・安心に暮らせるまちづくりを進めてほしい。

【第3章 未来をひらく文化と環境のまちづくり】

- ・教育にもっと力を入れてほしい。
- ・中学校で給食を実施してほしい。
- ・地域の伝統の維持・後継者育成を行政として取り組んでほしい。
- ・最新のものに変わることが進歩とは限らない。
- ・けいはんなプラザ等でのイベントを充実してほしい。
- ・スポーツ施設を作してほしい。
- ・外国人住民との共生が重要である。
- ・自然を壊すような開発はせずに自然豊かなまちづくりを進めてほしい。
- ・町の計画等について、もっと積極的に情報発信をしてほしい。
- ・図書館をもっと充実してほしい。

【第4章 自立を目指した協働のまちづくり】

- ・よりよい行政を目指してほしい。
- ・もっと窓口サービスを充実してほしい。
- ・手続きの電子化を進めてほしい。

6. せいかカフェ・ラボ

これからの精華町のまちづくりについて住民の皆様との対話・意見交換の場として「語り合おう！精華町の未来デザイン せいかカフェ・ラボ」（以下「せいかカフェ・ラボ」という）を開催しました。



「せいかカフェ・ラボ」は、子育て・福祉・教育・環境といった分野ごとに語り合う「テーマ別」、町内の小学校区ごとに語り合う「地域別」の2つのグループに分かれて、ワークショップ形式で各4回ずつ開催しました。（4回目は合同で開催）

この「せいかカフェ・ラボ」は、第6次総合計画策定における住民意見聴取の大きな柱のひとつとして取り組み、まちの「将来ビジョン」について、参加者の皆さん同士、交流しながら意見を交わしていただきました。

○実施経過とプログラム

①参加の募集

次の方法で募集し、テーマ別56名、地域別44名、合計100名の参加申し込みがありました。

- ・住民意識調査の調査票に本ワークショップの案内を同封し募集
- ・広報誌「華創」、町ホームページでの公募
- ・各種団体、自治会の方から参加募集

②グループについて

■テーマ別

「テーマ別」は下記6つの分野に分かれて話し合っていました。

開催日	内容
学研都市建設グループ	「学研都市精華町」の発展 ・研究所・産業施設の集積、リニア中央新幹線・京阪奈新線・公共交通、自然、まちなみ、景観、環境保全、住環境 など
観光・産業グループ	地域資源を活かした魅力・活力のあるまち ・まちの歴史、観光魅力、産業活性化、農業、就労環境、にぎわい など
健康・福祉・生涯学習グループ	住民の健康と文化・スポーツ活動 ・健康、医療、保健、福祉、支え合い、文化・芸術、スポーツ、生きがい など
子育て・教育グループ	子どもたちの健やかな成長 ・出産、子育て、学校教育、青少年、親育ち など
安全・安心・コミュニティグループ	安心で生き生きとしたコミュニティ ・ご近所、自治会、地域行事、協働、防犯・防災 など
学研都市未来グループ	学研都市精華町の未来・夢 ・「文化・学術・研究」、科学のまちの子どもたち、近未来 など

■地域別

「地域別」は参加者のお住まいの小学校区ごとにグループに分かれて話し合っていました。

精北小学校区グループ／川西小学校区グループ／精華台小学校区グループ／東光小学校区グループ
山田荘小学校区グループ

③プログラムの概要

テーマ別、地域別ごとに各3回実施し、4回目は合同で実施しました。

	せいかカフェ・ラボ(テーマ別)	せいかカフェ・ラボ(地域別)
第1回	「精華町ってどんなまち？」 ・日時：令和3年11月6日(土) 13:30～16:00 ・場所：精華町役場交流ホール ・出席者：48名 ・精華町の自慢や魅力、将来に残したいこと、これから高めていきたいことなどをワールドカフェ形式で語り合いました。	「精華町ってどんなまち？」 ・日時：令和3年11月13日(土) 13:30～16:00 ・場所：精華町役場交流ホール ・出席者：36名 ・住んでいる小学校区の「自慢できるところ」「気になるところ」などをグループで語り合いました。 
第2回	「めざすまちの姿」を考えよう！ ・日時：令和3年12月18日(土) 13:30～16:00 ・場所：精華町役場交流ホール ・出席者：39名 ・テーマごとに分かれて、10年後の「めざすまちの姿」を語っていただきました。 	まちあるきで「我がまち」再発見 ・日時：令和3年12月11日(土) 13:30～16:00 ・場所：精華町役場交流ホール ・出席者：31名 ・住んでいる小学校区ごとにまちあるきをし、良いところや気づいたところを共有しました。 
第3回	精華の未来に向けた取り組みを考えよう！ ・日時：令和4年3月26日(土) 13:30～16:00 ・場所：けいはんなプラザ交流棟3階大会議室「ナイル」 ・出席者：33名 ・「めざすまちの姿」と重点的な取り組み3つをグループで検討し、提言書を取りまとめました。	「我がまち」の未来デザイン めざす地域の姿と実現に向けた取り組みを考えよう ・日時：令和4年4月23日(土) 13:30～16:00 ・場所：けいはんなプラザ交流棟3階大会議室「ナイル」 ・出席者：27名 ・「めざす地域の姿」と重点的な取り組み3つをグループで検討し、提言書を取りまとめました。
第4回	せいかまちづくりフォーラム ～未来への一歩！～ ・日時：令和4年5月21日(土) 13:00～16:30 ・場所：けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)ホール ・出席者：59名 ・テーマ別8グループ、地域別6グループの「まちづくり提言書」の発表会と意見交換会を開催しました。また、「まちづくり提言書」を受けて、精華町の理事者・部長級職員からコメントをさせていただき、また、京都府立大学の川勝先生、上杉先生からは、応援メッセージをいただきました。 	

せいかまちづくりフォーラム～未来への第一歩～

○まちづくり提言書の発表

◆テーマ別グループ



グループ	発表の概要
学研都市建設 グループ	「次世代へ引き継げる景観保全がされたまち」「けいはんな新線を核とした面的発展を目指した交通整備」をめざし、京阪奈新線の延伸の実現への要望、新たな公共交通の整備、環境保全を進めていく。
学研都市未来 グループ	「子供から大人までみんなが夢を持てるまち」「科学と伝統で進化を続け、他の地域の人が来たくなるまち」にむけて、住民・行政・企業の連携が必要。精華町の魅力を発掘し、発信していく持続可能な場の設定や、若者の意見を取り入れた高齢者支援を進めていく。
観光・産業 グループ	「子どもからお年寄りまで3世代が一緒に安心して過ごせるまち」「遊び・働く・学び・スポーツ・伝統、活躍できる場所があるまち」「産業・観光・福祉・子育て等全ての分野でつながり、協働のあるまち」をつくっていく。町民が集う場作り。カフェラボ100軒やSNSの活用などを図る。
健康・福祉 ・生涯学習① グループ	「行きたい所に行けるまち」「お互い支え合えるまち」「誰もが何でも参加できるまち」「お酒!?が飲めてみんなでワイワイできる、よりどころがあるまち」をめざして、ボランティアについて考えるきっかけ作りや生活に不便を感じない交通手段づくり、多世代や同じ状況にある人が交流できる居場所(カフェ・サロン・イベントなど)づくりをもっと発展させていく。
健康・福祉 ・生涯学習② グループ	「みんなでふれ合える孤立しないまち」「医療の充実したまち」「食生活の充実、体力づくり、仲間づくりができるまち」として発展するために、公園に高齢者も使える遊具の設置や自治会、子ども会などの活性化に取り組んでいく。
子育て・教育① グループ	「体験を通じて心が豊かになるまち」「町全体が家族なまち」「子どもも大人も笑顔あふれ住みたいまち」をめざして、農業体験を通じた子育て支援、学研都市と連携した子育て支援、SNSの活用などを進めていく。
子育て・教育② グループ	「自然を活かした環境のある町」「育ってよかったまち」「地域で見守るまち」「自分たちが変えられるまち」にむけて子どもと学生が考えるせいか祭りの開催、誰もが情報をとれるシステムづくり、特別な知識を持った人たちから子どもたちが学べる場所づくりを進めていく。
安全・安心 ・コミュニティ グループ	「明るくて、やさしいまち」「個性が集まり、つくりあげるまち」「おせっかいなまち」をめざして、人やものをつなげるイベントづくり、人がつながる仕組みづくり、気軽に立ち寄れる場所づくりに取り組んでいきたい。

はじめに

基本構想

基本計画

第1章

第2章

第3章

第4章

参考資料

◆地域別グループ

グループ	発表の概要
精北小学校区グループ	「花とつながり人とつながる明るいまち」をめざす地域の姿に掲げ、空き家やむくのきセンターなどを利用した高齢者と若者の居場所づくりや農業体験等を通じた子どもが自然と触れ合う経験の提供、“あいさつ”を通じた安心安全のまちづくりに取り組む。
川西小学校区グループ	かつてはまちの中心だったので、「中心への復活」をめざし、里山を維持しつつ魅力ある地域にし土地活用、インフラ、住環境を充実させる。
精華台小学校区グループ	「全世代が安心して暮らせるまち」「共に考え、共につくり共に育てる自立的な地域／環境にやさしいまち」「「ゆりかご」から「墓場」まで一生過ごせる地域」をめざし、つながり、きずな、支え合いの基盤として、学生世代なども参加する自治会のオープン化、住宅の循環、企業と地域が日常的につながる環境づくりを進めていく。
東光小学校区①グループ	「企業との共存・共生するまち」「人とのつながりがあるあたたかいまち」をめざし、企業を巻き込んだ交流イベントの開催、新旧地域での交流促進、IT技術を活用したコミュニケーションを進めていく。
東光小学校区②グループ	「人と人とのつながりによる安心安全で美しいまち」のために、いろんなレベルで相互理解できるようなコミュニケーションの場を積極的に作っていききたい。
山田荘小学校区グループ	「山田川駅交通拠点の向上」「川と桜でつながるまち」「多世代が集まりたいまち」をめざし、色々な世代が集まって桜を守る“山田川さくらもり（守・盛）活動”や多世代が集まりたい、歩きたくなるまち、農業コミュニティ・豊かな農地の活用を進めていく。

7.「わたしたちの思い描く未来の精華町作品コンクール」入賞作品

精華町次期総合計画の策定に向けて「わたしたちの思い描く未来の精華町作品コンクール」を実施しました（令和4年3月表彰）。中学生の部は2年生を対象とした作文コンクールであり、2校から47作品の応募がありました。また、小学生の部は、5年生を対象とした絵画コンクールであり、4校から210作品の応募がありました。

■入賞者（敬称略）

【中学生の部 作文】

最優秀賞	津 田	輝	精 華 西 中 学 校
優 秀 賞	上 垣	大 河	精 華 南 中 学 校
入 賞	中 川	真 緒	精 華 南 中 学 校
入 賞	新 川	光 琉	精 華 南 中 学 校
入 賞	山 田	有 理	精 華 南 中 学 校

【小学生の部 絵画】

最優秀賞	竹 森	穂 奏	精 華 台 小 学 校
優 秀 賞	山 崎	実 莉	精 華 台 小 学 校
入 賞	海 田	健太郎	東 光 小 学 校
入 賞	岡	柚 花	精 華 台 小 学 校
入 賞	湖 亀	芹 香	東 光 小 学 校
入 賞	花 田	遼 馬	川 西 小 学 校
入 賞	廣 田	幸	東 光 小 学 校
入 賞	本 田	晴 菜	東 光 小 学 校
入 賞	松 本	蓮太郎	精 華 台 小 学 校
入 賞	世 継	琴 香	精 華 台 小 学 校

8. 有識者からのまちづくり提言

精華町次期総合計画の策定にあたり、まちづくりに係る多様な分野の専門家など26名の方々から、精華町のまちづくりに参考となるご意見・ご提案をいただきました。

■提言をいただいた方

(五十音順・敬称略、令和4年3月現在)

	氏名	所属・役職等	提言テーマ、分野等
1	青 山 公 三	京都府立大学 名誉教授	学研都市の産業の将来ビジョン、子どもたちが帰ってくるまち、住民参加等。
2	アライジャ・フランコ	一般財団法人自治体国際化協会 プログラム・コーディネーター (元精華町国際交流員)	精華町の多文化共生の取り組み、外国人からみた魅力等。
3	石 井 好 二 郎	同志社大学 スポーツ健康科学部 教授	精華町の特性を活かした「運動」や「食(栄養)」等に係る健康づくりの方法等。
4	岩 本 泰 一	日本ニューロン株式会社 代表取締役	企業目線でみた精華町、地元雇用、企業と地域の関わり、京阪奈新線新祝園ルートの延伸等。
5	大 田 直 史	龍谷大学 政策学部 教授	効率的な住民参加の方法や住民協働等。
6	加 藤 久 雄	奈良教育大学 学長	学校教育、人材育成、その他教育全般等。
7	空 閑 浩 人	同志社大学 社会学部社会福祉学科 教授	地域福祉や高齢者の居場所など、地域コミュニティのあり方等。
8	酒 井 高 正	奈良大学 文学部地理学科 教授	周辺地域からみた精華町の立ち位置、地理情報の活用方法、奈良から見た学研都市の評価等。
9	杉 岡 秀 紀	福知山公立大学 地域経営学部 准教授	住民主体のまちづくりの方向性、地域創生について、次期総合計画への位置付け方等。
10	宗 健	大東建託株式会社 賃貸未来研究所 所長	まちの住みこち(自治体)ランキングや住みやすいまちをつくるための施策等。
11	高 橋 克 忠	特定非営利活動法人けいはんな文化学術協会 理事長	関西文化学術研究都市の発展に必要なこと。
12	多々納 裕 一	京都大学防災研究所社会防災研究部門防災社会システム研究分野 教授	総合計画やまちづくりにおける防災の位置づけ、激甚災害に対しての備え等。
13	中 尾 聡 史	京都大学大学院 工学研究科 助教	精華町の公共交通施策のあり方等。

	氏名	所属・役職等	提言テーマ、分野等
14	中 村 貴 子	京都府立大学 生命環境学部 准教授	精華町の農業の現状と課題、学 研企業と農業の関わり等。
15	野 田 遊	同志社大学 政策学部 教授	持続可能な行政サービスのため に担税力のある住民定住を促進 する、まちづくりのあり方等。
16	原 田 智	総務省地域情報化アドバイザー 京都産業21 部長 (元京都府情報政策統括監)	ICTのまちづくり、自治体に有効 なデジタル技術、高齢者へのデジ タルデバйд対策等。
17	藤 井 聡	京都大学大学院 工学研究科 教授	学研都市と交通インフラ整備の 関係性、京阪奈新線新祝園ルー トの実現に向けた基本戦略等。
18	松 本 紘	国立研究開発法人理化学研究所 理事長 公益財団法人国際高等研究所 所長	学研都市のあり方、学研都市の重 要性を高める方向性、オール京阪 奈の考え等。
19	宮 下 敬 宏	株式会社国際電気通信基礎技術 研究所(ATR) インタラクション研究所 所長	ATRと関西文化学術研究都市、 少子高齢社会におけるロボット (アバター)の可能性等。
20	宗 田 好 史	京都府立大学 文学部 教授	住民が住み続けたいと思うまちや 歴史・文化を生かしたまちづくり等。
21	室 崎 千 重	奈良女子大学 生活環境学部 准教授	地域で参加・交流しやすい場づく り、共助のマッチング、身近に相 談できる場づくり等。
22	毛 利 靖	茨城県つくば市立みどりの学園 義務教育学校 校長	プログラミング・ICT教育のあり方、 筑波研究学園都市つくば市から みた学研都市精華町等。
23	森 田 英 一	お茶の京都DMO 一般社団法人 京都山城地域振興社 観光アドバイザー	精華町の特色を踏まえた上での 観光振興や交流人口の拡大に向 けての方向性について。
24	山 川 肇	京都府立大学大学院 生命環境 科学研究科 環境科学専攻 教授	食品ロス削減の取り組みにおける先 進自治体として今後取り組むこと等。
25	山 口 隆 史	植彌加藤造園株式会社 顧問 (元けいはんな記念公園所長)	けいはんな記念公園設置の経緯、 学研都市周辺地域の調和のとれ たまちづくりの方向性等。
26	吉 本 優 子	京都府立大学 生命環境学部 食保健学科 准教授	せいか365や健康づくりの住民運 動のさらなる展開に向けた、各ライ フステージの食育と健康づくり等。

人がつながり夢を叶える学研都市精華町

精華町第6次総合計画

発行日 令和5(2023)年3月

発 行 精華町

編 集 精華町 総務部 企画調整課

〒619-0285

京都府相楽郡精華町大字南稲八妻小字北尻70番地

TEL:0774-95-1900(直通) FAX:0774-95-3971

TEL:0774-94-2004(代表)

E-mail:kikaku@town.seika.lg.jp

<https://www.town.seika.kyoto.jp>

